

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)松原市高見の里4丁目マンション計画	階数	地上7F
建設地	松原市高見の里4丁目	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	348人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2021年9月1日
敷地面積	3,451㎡	作成者	西村謙司
建築面積	1,222㎡	確認日	
延床面積	6,625㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	外壁はタイルと吹付タイルとし、バルコニーの手摺りはガラスを設置し、デザイン性を高めるとともに周辺環境と調和するように努めました。また、断熱性能を高めることにより、環境に優しい計画としています。	その他 特になし。
Q1 室内環境	F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー	省エネルギー等級3取得予定。照明器具にLEDを使用。	LR3 敷地外環境 広告物照明を設置する予定なし。
Q2 サービス性能	外装材にタイルやガラスなどの汚れにくい材料を使用しました。また、各住戸の天井高さを2.4m確保しました。設備配管における耐用年数の確保。	
LR2 資源・マテリアル	特になし。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0060

Osakafu・新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)松原市高見の里4丁目マンション計画						
	建設地	松原市高見の里4丁目						
	用途/区分	集合住宅						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						3	
④	エネルギー削減						3	
⑤	自然エネルギー直接利用						○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						対象外	
【評価項目】								
	項目	評価内容					スコア	評価
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価					3.0	3
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価					2.0	3
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価					3.0	
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価					3.0	
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					3.0	3
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					3.2	3
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					3.0	○
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	-
その他								
		技術の名称				考慮事項		
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							